

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
【児童指導】	
① スタンドアードの共通理解し、指導の徹底を全職員で行う。	
② 規範意識を高め、健全な自尊感情を育むために、道徳教育の充実を図る。	
【特別支援教育】	
① より確かな児童理解ができるように職員会議や学年研を工夫して組織的に情報共有や共通理解ができるようにする。	
② 関係機関との連携を図り、合理的配慮やユニバーサルデザインをテーマにした職員研修を行う。	
③ 特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図る。	

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		・自分のよいところに気付き自尊感情を高めるとともに、周囲の人を大切に思い、豊かな人間関係を築こうとする心情を育てる。	・異学年交流の場を充実させるため、異学年がかかわり合う場を設定する。 ・児童が主体の活動によるあいさつ運動によってあいさつの大切さを自覚し進んであいさつができるようにする。 ・子ども個々が行事や体験学習を通して活躍する場をみつけ自己肯定感をもてるようにする。
担当	道徳部		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学習状況調査の生活意識調査から、自分に関することに対しては意識が高いものの、周りの人とのかかわりには意識が低いことが分かった。また、YP アセスメントシートの結果から、全体的に自尊感情が低い傾向にあることが分かる。豊かな心の育成にむけて、お互いを認め合い、高め合う人間関係づくりが、重要になってきている。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 道徳教育の充実

- ・全学級のあいさつ週間と人権週間道に、児童指導部が提案した道徳授業を1時間ずつ必ず実施する。
- ・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう、日々の学校生活を反映させた題材を活用する。

指針2 体験学習の充実

- ・遠足、運動会などの行事を通して、異学年交流を積極的に行うようにする。その際には、高学年、中学年、低学年の役割を明確にし、協力して臨めるようにすることで、学級集団だけではなく異年令同士のつながりを築くようにする。
- ・代表委員会などを通して、子ども自身が、必要感をもって主体的に取り組めるような活動を学級、学校で行い、他者との関わりを自分からもとうとするようにする。

指針3 豊かな人権感覚・意識の育成

- ・行事や体験学習などでは、一人一人が活躍できる場面を設定するとともに、振り返りや認め合う場を設けることで、自尊感情を高めていくようにする。